



いきいき た・か・た



目次

医療法人 玉昌会 行動指針

低 賞 感 微

- 低：すべてに謙虚な気持ちで接する
- 賞：お互いを思いやり、敬意をはらう
- 感：すべてに感謝する
- 微：微笑みを添えて、態度で示す

基本理念/基本方針/患者さまの権利宣言	2
診療情報/セカンドオピニオン/個人情報	3
薬局コラム「風邪の漢方薬」	4
地域医療連携センターコラム「障害者総合支援法（障害者自立支援法）」	6
心理相談室コラム 「冬季うつ病～ウインターブルー～」	7
ケアデザインほりえコラム「ほりえ通信」	8
ボランティア報告・募集	9
イベント・院内勉強会	10
平成26年度 上半期診療実績報告	11
行事予定/編集後記	12

いつまでも健やかに・・・

- - 私たちの願いです。

高田病院 基本理念 基本方針

患者さまの意思と権利を尊重し、
「医療人としての感性（低賞感微）」
に満ちた医療・福祉活動を提供します。

1. 慢性期病院としての豊かな「感性・知識」に基づいたヒューマン・サービスの提供を全職員で目指します。
2. 地域との連携及び病診連携を図り、在宅復帰に向けたシームレスでしかも一貫した高齢者医療や福祉を目指し、地域社会の幸福に貢献します。
3. 予防医学（健康診断・人間ドック）の充実を図り、生活習慣病の予防・早期発見を目指し、地域社会の発展に貢献します。
4. 職員の生活向上と幸福に寄与します。

患者さまの権利宣言

すべての人は、人格を尊重され健康に生きる権利を有しています。患者さまにおかれましては、健康を回復し、維持増進するために、医療スタッフの助言協力を得て、患者様の選択のもとに、最善の医療を受ける事は人として基本的権利です。

【平等で良質な医療を受ける権利】

患者さまは本人の経済的社会的地位、年齢、性別、疾患の種類などにかかわらず平等で良質な医療を受ける権利があります。

【選択の自由の権利】

患者さまは担当医師および医療機関を選択し、または変更する権利があります。またいかなる時でも他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

【知る権利】

患者さまは、自らの状況（病名、病状、検査結果）について納得するまで十分に説明を受ける権利があります。

【自己決定権】

患者さまは納得できるまで説明を受けたのち、医療スタッフの提案する医療行為を自分で選択する、同意して受ける、あるいは拒否する権利があります。

【個人情報保護】

患者さまは、全ての個人情報、プライバシーが守られる権利があります。

●診療情報の提供及び開示につきまして

当院では、患者さま・ご家族より診療情報の提供（診療内容の説明）及び開示（カルテ開示）についてお申し出があった際は速やかに対応させていただくシステムになっておりますが、提供・開示の際に必要な条件書類等がございます。

～診療情報の提供及び開示の条件・必要書類・申請方法～

担当の窓口にて対応させていただきます。

御遠慮なく病棟スタッフへお申し出ください。

個人情報保護方針

当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考えます。

個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

1. 個人情報の収集・利用・提供
個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集・利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。
2. 個人情報の安全対策
個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講じます。
万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。
3. 個人情報の確認・訂正・利用停止
当該本人（患者さま）等からの内容の確認・訂正あるいは利用停止を求められた場合には、別に定める内部規則により、調査の上、適切に対応します。
4. 個人情報に関する法令・規範の遵守
個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。
5. 教育および継続的改善
個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します。
6. 診療情報の提供・開示
診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます。
7. 問い合わせ窓口
個人情報に関する問い合わせは、各部署責任者または以下の窓口をご利用ください。
個人情報保護相談窓口：地域医療連携センター

●セカンドオピニオンにつきまして

患者さま・ご家族が、当院で十分納得していただいて、患者さまが主体的に治療を受けていただく為に、第三者である他医療機関の医師の診療を受けることについては、それに応じさせていただきます。

※セカンドオピニオンとは、...

セカンドオピニオン＝第2の意見。主治医以外の医師の意見。
現在の主治医以外の診断や治療方針を聞くことで十分に納得して患者さまご自身が主体的に治療を受けていただく為に実施されています。

『セカンドオピニオン外来』が設置されている医療機関では保険診療が認められ、5,000円で算定されますが、内容によっては自費で10,500円～20,000円支払う所もあります。

風邪（かぜ）の漢方薬

～薬局～

風邪（かぜ）と漢方薬について

漢方ではかぜのひきはじめのあらゆる症状に応ずる処方はもちろんのこと、二次感染によっておこる各種症状に対する処方も、用意されています。漢方では、ウイルスに感染するのはそれなりの体の不調があると考えて、それを治す薬を選択します。からだの不調が治れば、たとえインフルエンザのような悪質、強力なものでも退治することができると思います。またかぜを大別して「熱いかぜ」と「寒いかぜ」にわけて治療するのも漢方の特徴です。

1.かぜのひきはじめ

●熱いかぜ

普通かぜをひくと悪寒がして、寒い寒いといって保温しているうちにまもなく熱がでて熱くなり、患者は熱感を訴えます。この状態が「熱いかぜ」で、たいてい頭痛を伴い、脈は浮いています。（表在性の脈）。

【麻黄湯】

普段から体が丈夫で、体力のある人や病状がきつい時に用います。子供は成長期にあり活力があるので、体力のある人と同じように麻黄湯を使います。ただし老人や体の虚弱な子供には注意が必要です。この処方は、高熱が出て、強い咳をしたり、腰や膝など体中の関節が痛み、脈は浮いていて非常に力強く自然には汗が出ないなどを目標にして使います。本方を服用して体を暖かくしていると、軽く汗ばむか、尿が沢山出て熱が下がります。

【葛根湯】

体力が中等度以上の人で、頭痛、発熱、悪寒があり、首のうしろや首筋がこわばる症状もあって、汗が出る気配が全くない（無汗）という場合に服用します。汗をすこしかき、熱が下がります。

【桂枝湯】

普段から体が弱くて体力のない人は、熱が出ると自然に汗をかきます（自汗）。なんとなく汗ばむ傾向のある人で、頭痛や悪寒を伴う症状があり、鼻がぐずぐずとか、頭髪にふれるとピリピリ痛む場合に服用すると、不愉快な汗が止まり、熱が下がってさっぱりとします。

【香蘇散】

虚弱な体質で、胃腸が非常に弱い人で、かぜをひくと胃がもたれ、頭重、めまい、耳鳴り、下痢などの症状が場合に服用すると、軽い発汗があり、熱が下がって他の症状もとれます。

●寒いかぜ

かぜをひいて、寒気が強く、青白い顔で手足も冷えている、体温計で計ると熱は上昇しているが、顔も赤くならずぐったりしていたり、床に入ってふとんをかぶっているような状態が「寒いかぜ」です。脈は弱く、のどがチクチク痛むとか、頭痛、咳、体の痛みなどを訴えます。

「寒いかぜ」になる人は、普段から虚弱で冷え性の人が多いですが、平素丈夫でがっしりした人に出る場合もあります。

【麻黄附子細辛湯】

体力が中等度以下の人の寒いかぜのひきはじめで、寒気が強く、頭痛がし、咳が出はじめ、のどがチクチク痛むなどの症状がある時に非常によく効く処方、わりに簡単に治る場合があります。

【真武湯】

普段胃腸が弱く、冷え性で血色がわるく、下痢しやすい人の寒いかぜに用います。一般に脈にも腹にも力がなくて、疲労倦怠がひどく、生気に乏しく、体温が上がっていても患者自身は熱感がなく、寒気が強い。熱がなかなか下がらず体が衰弱し、体が重くておきているのが苦しく、寝てばかりいるような場合に効果があります。

2. 長引いたかぜ

かぜの初期には熱が下がるまで服用しますが、二日位経過しても解熱しないときは、だいたい長引くかぜになります。そして、四、五日から一週間服薬してもなおらないときは、かぜの症状は変わってきます。すなわち、食欲がなくなり、口が渇いたり苦くなったりして、ときには吐き気もおこしたりします。咳も胸の深いところからでるようになり、熱が上がったり下がったりします。軽症の場合は午後になると熱がでて、その熱が上がるまえに悪寒がしますが、重症になってくると悪寒と熱が繰り返しておこります。また深い咳とともに胸痛や胸苦しきの症状がでて、肋骨の下がかたくなり、押すといたむ胸脇苦満という症状がおこります。

こういう時期になると前記のような薬を飲んでも汗をかいても、熱がさがらないので柴胡剤を使います。

【小柴胡湯】

体力が中等度の人で、胸脇苦満、舌の白苔、口苦、口がねばり、食欲減退、往来寒熱、悪心、嘔吐、咽喉乾燥、咳などを目標にします。

【柴胡桂枝湯】

小柴胡湯と桂枝湯の合方で、かぜなどの熱のある疾患に用い、小柴胡湯の証があって悪寒、体痛などの症状がのこっていて、熱が高いときに用います。

【柴胡桂枝乾姜湯】

体力の弱い人で、冷え性で血色がすぐれず、息切れや動悸があり、口が乾燥し、寝汗、熱、咳、肩こり、めまい、夜就寝してからも動悸を感じるなど体力が衰弱した状態の時に使用します。

3. 鼻かぜ (急性鼻炎)

くしゃみ、はなみず、鼻づまりがあつて、ときに頭の重い症状が伴う場合に効果があります。

【小青龍湯】

水のように薄い鼻水がしきりに流れるもので、気候の変わり目などにすぐ症状が現れ、尿意をたびたびもようしたり、咳や喘咳、くしゃみを伴うものに用います。

かぜの健康管理法

1. かぜのときは暖かくして、寝ることが大事です。漢方薬を服用していても、体を冷やしていたり無理をしていると治らないものです。
2. かぜのひき始め、熱があるとき、咳がよく出る時期には入浴は控えたほうが良いと言われています。熱い風呂にはいって体を温め、そのまますぐ寝てかぜを追い出してしまう人がいますが、これは体力の充分ある人のできることで、弱い人がやればかぜは悪化してしまうので注意が必要です。
3. 水分の補給は、かぜを早く治療するために必要です。柑橘類などは予防のためにはビタミンCを含んでいますが、クエン酸などで体を冷やすので控えたほうが良いようです。また「白粥と梅干」は体を温め胃腸に負担をかけないので、食欲のない時には最適です。

記事担当：朝倉（薬剤師）

障害者総合支援法（障害者自立支援法）～地域医療連携センター～

「障害者自立支援法」を平成25年4月1日から「障害者総合支援法」とすると共に障害者の定義に難病を追加して、平成26年4月1日から重度訪問介護の対象者の拡大、ケアホームをグループホームへ一元化していくことなどが実施される。

●自立支援給付 [自立支援医療：更生医療・育成医療・精神通院医療]

介護給付

訪問系サービス

- ・ 居宅介護
- ・ 重度訪問介護
- ・ 同行援護
- ・ 行動援護
- ・ 重度障害者等包括支援
- ・ 短期入所

居住系サービス

- ・ 施設入所支援
- ・ 共同生活介護
(ケアホーム)

日中活動系サービス

- ・ 療養介護
- ・ 生活介護

訓練等給付

居住系サービス

- ・ 共同生活援助
(グループホーム)

日中活動系サービス

- ・ 自立訓練（機能訓練・生活訓練）
- ・ 就労移行支援
- ・ 就労継続支援A型＝雇成型
- ・ 就労継続支援B型

補装具費支給

●地域生活支援事業

- ・ 相談支援事業
- ・ コミュニケーション支援事業
- ・ 日常生活用具給付事業
- ・ 移動支援事業
- ・ 地域活動支援センター事業

●その他：任意

- ・ 日中一時支援事業
- ・ 訪問入浴サービス事業
- ・ 福祉ホーム事業
- ・ 盲人ホーム事業
- ・ スポーツ、レクリエーション教室開催 など
- ・ 成年後見制度利用支援
- ・ 更生訓練費等支給事業
- ・ 手話奉仕員養成研修事
- ・ 点字・声の広報発行

※入所施設のサービスは、昼のサービス（日中活動支援）と夜のサービス（居住支援）に分かれており組み合わせて利用できる。利用者一人一人の個別支援計画が作成され、利用者の希望に応じて複数のサービス提供が可能。地域生活へ移行することを目指す。



参照資料：地域医療情報データベースせごどん、厚生労働省ホームページ

記事担当：富永（精神保健福祉士）

冬季うつ病～ウィンターブルー～ ～心理相談室～

寒～いこの時期、皆さん毎日どうお過ごしですか？



今や、現代病の代名詞ともいえる“うつ病”。その背景や症状はさまざまですが、中でも近年、特定の季節になると毎年あらわれるという“季節性うつ病”が注目されています。特に、『**冬季うつ病（ウィンターブルー）**』が代表的で、日照時間が短く空がどんよりと暗くなる10月から11月頃に始まり、日差しが長くなる2月から3月頃には次第に治まってくるとされています。この病気の症状には、**冬季限定の「倦怠感」「気力の低下」「過眠」「過食（体重増加、炭水化物や甘い物を欲する）」**などがあり、いずれも重症化すれば日常生活にも支障をきたします。

その治療法として、最も有効とされている1つに**光療法**があります。太陽の光を浴びるまたは高照度光照射により、脳内物質セロトニン、それを原料とする睡眠ホルモンのメラトニンの生成を促し、**体内時計**を調整するというものです（尚、治療の詳細についてはうつ病治療の各専門窓口までお問い合わせ下さい）。

元来、冬は日照時間が短く、日常の行動もおっくうになりがちです。朝、カーテンを開けて太陽光を浴びる、屋内照明を明るめにする、軽めの運動を心掛けるなど、冬場の生活環境のほんの少しの改善が『冬季うつ病』の何よりの予防になるのです。皆さんもこの機会に、最近の生活のあり方をちょっとだけ振り返ってみてはいかがでしょうか？



他にも気分転換の方法についてなど、『心理相談室』では、さまざまなお困りごとに対応させていただいております。下記を参考にどうぞお気軽にご利用下さい。

対象 高田病院に入院・通院・通所中の方、またそのご家族
内容 通院・入院中のご心配ごと、気がかりなことなど
場所 心理相談室（高田病院2階 自動販売機の近く）
ご予約 お電話もしくは各スタッフまで。事前予約をおすすめします。

外線 099-226-4325 内線 219まで

相談時間 月曜日～金曜日（午前9時～午後5時）

費用 無料

担当 西・松浦〔臨床心理士〕

*プライバシーはお守りいたします。

*必要に応じて、各種窓口へご案内・おつなぎいたします。

*ご不明な点がございましたら、お近くのスタッフまでお声かけ下さい。

記事担当：西（臨床心理士）



今年は雪が散らつく中に平成27年が幕を開けました。護国神社へ初詣に出かけました。皆様にとって素敵な1年になりますように・・・。

いっぱい笑っていっぱい食べて健やかに過ごしていただけますようお願いいたします。



書初めです。今年はひつじ年です。先日、羊と山羊の鳴き声の違いとい話題で盛りあがりしました。大概の方は、どちらも「メェ～」と答えていましたがどうなのでしょう？羊と山羊は鳴き声が同じなののでしょうか？



「もぜ～！」

ほりえのおじいちゃん、おばあちゃん
は小さい子どもたちが大好きです。
2人ともとってもいい表情ですね。
私のお気に入りの1枚です。



今年もよろしくお願い致します。

記事担当：小林（ケアレジデンスほりえ）

院内全体勉強会 (10月～12月)

	参加率
【10月】 エコアクションについて	70%
【11月】 消毒薬について（ノロウイルスと嘔吐物処理） インフルエンザについて	76% 75%
【12月】 安全運転講習	53名参加

記事担当：教育委員会

ボランティア報告

甲東中学校3年生

平成26年5月27日～29日までの3日間、甲東中学校3年生の4名が職場体験学習を行う為に、来院してくださいました。今回は、『通所リハビリテーション』『ケアレジデンス風の街デイサービス』『認知症対応型通所介護事業所 ハートフルケア堀江』上記3ヶ所に配属され、職場体験に笑顔で取り組んでいました。



宝島中学校

平成26年6月16日～18日までの3日間、宝島中学校の2名が職場体験学習を行う為に、はるばる遠い子宝島から来院してくださいました。『診療部薬局』『ケアレジデンス風の街デイサービス』にて、自動分包機の説明を受けたり、昼食の準備を手伝ったり、ふーせんバレーへ参加したりと積極的に取り組まれ、一生懸命がんばっていました。



鹿児島女子高等学校

平成26年6月30日～7月4日までの5日間、鹿児島女子高等学校の12名が職場体験学習を行う為に、来院してくださいました。今回は、『回復期リハビリテーション病棟 6階』『療養病棟 各3階・4階・5階』『通所リハビリテーション』『ケアレジデンス風の街デイサービス』『認知症対応型通所介護事業所 ハートフルケア堀江』上記7ヶ所に配属され、みなさん真剣な面持ちで取り組まれていました。



記事担当：富永（精神保健福祉士）

ボランティア募集！

当院では、鹿児島市社会福祉協議会ボランティアセンターへ登録を行い、

- ①入院患者さまとの交流を深めて頂ける方
- ②通所リハビリ利用者さまとの交流を深めて頂ける方
- ③通所リハビリ職員の業務補佐をして頂ける方
- ④院内託児所において子供の世話をして頂ける方
- ⑤行事の催し物で演奏・演芸等を披露して頂ける方 を常に募集しています。

ボランティア受付窓口として、地域医療連携センターが設置されていますので、お気軽にお問い合わせ下さい。（担当：上坂元）

【お問い合わせ】

高田病院 代表 099-226-4325（内線 388/389）

直通 099-226-4361

AM 9：00 ～ PM 5：00 ※日曜・祝日は不在となります。

定期講演会 未来社会をあなたとともに

10月4日 加温ホール



平成26年10月4日に加温ホールにて定期講演会「未来社会をあなたとともに」が開催されました。今回は、地域包括ケアシステムとリハビリテーションの重要性についてご講話をいただき、今後の高齢化社会に向けた地域が一体となった街づくりの大切さを学びました。

記事担当：宮口（総務）

鹿児島地区忘年会

12月4日 サンロイヤルホテル



12月4日、鹿児島地区忘年会がサンロイヤルホテルにて開催されました。200名以上の参加があり、毎年恒例となっている余興やカラオケでたいへん盛り上がりました。一年間の疲れがとれるような楽しい時間を過ごすことが出来ました。

記事担当：宮口（総務）

お誕生会

12月18日 通所リハビリ室



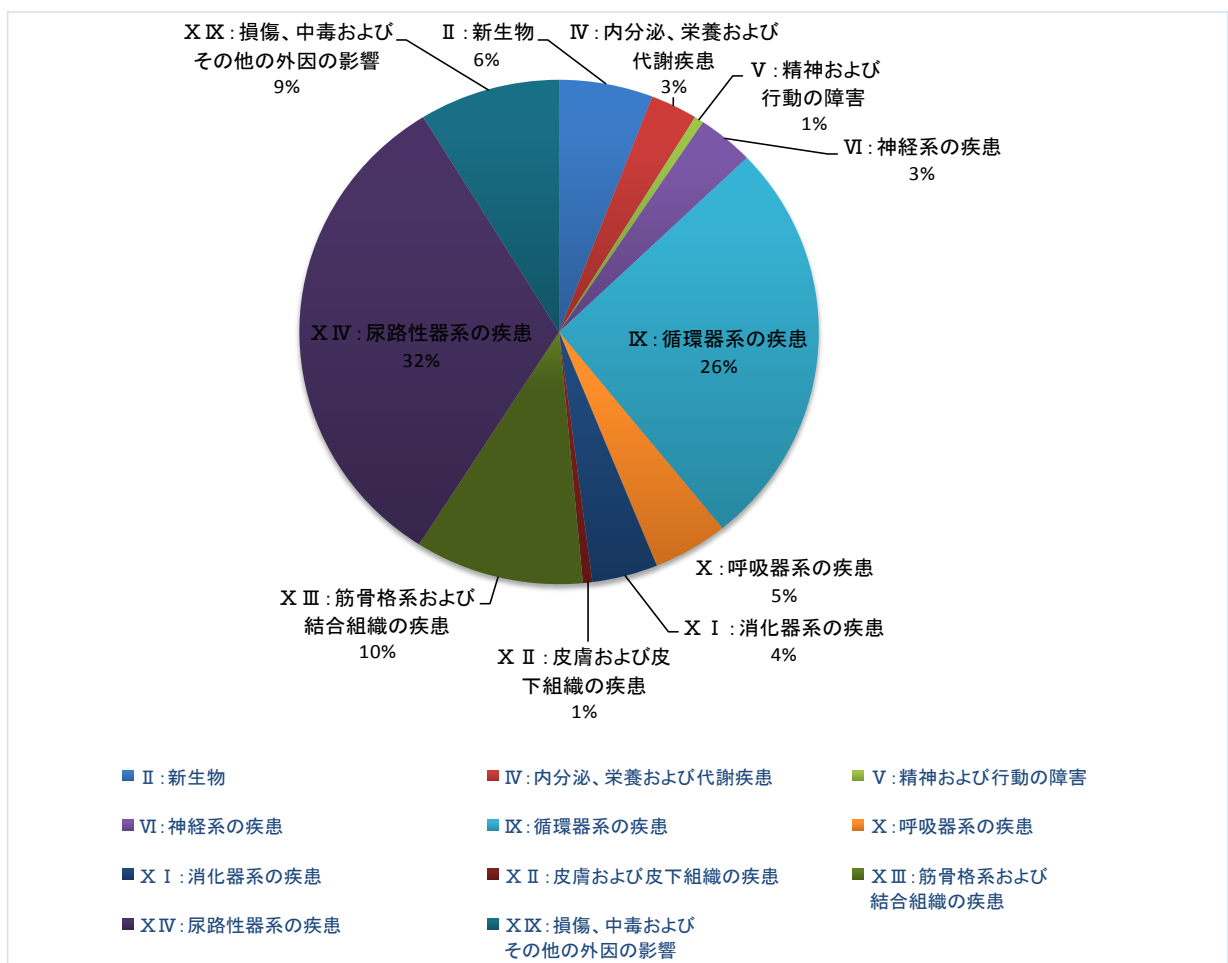
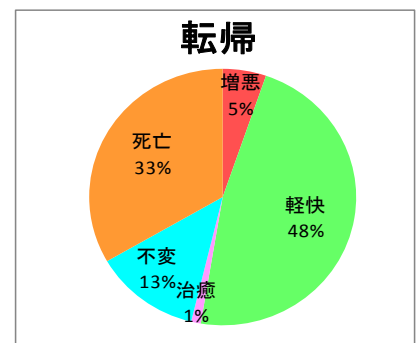
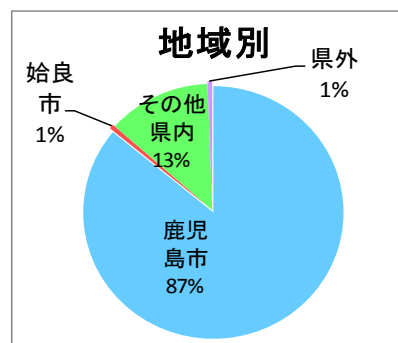
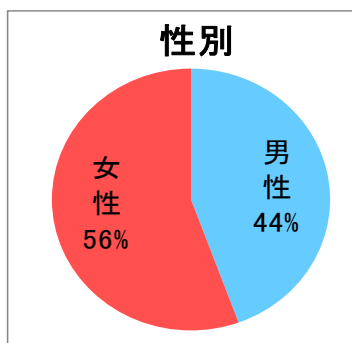
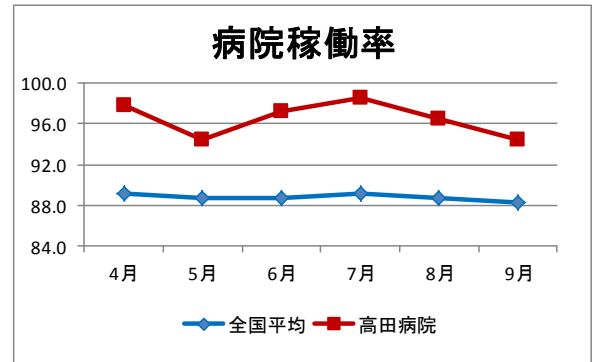
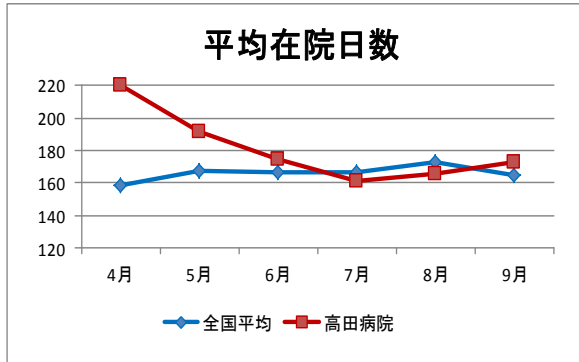
誕生日が、10月・11月・12月の方を対象に、お誕生会が開催されました。

職員による歌のお祝いや、劇、またボランティアの方による演奏などさまざまな催しが行われました。参加いただいた患者さまやご家族の方もたいへん喜ばれているようでした。

記事担当：宮口（総務）

平成26年度上半期（4月～9月） 診療実績報告

診療情報管理委員会より高田病院の平成26年度上半期の診療実績の報告をさせていただきます。



行事予定

高田病院

- 2月 管理者フォローアップ研修
- 3月 合同スタッフ会議
新入職者オリエンテーション
お花見
- 4月 新入職者のつどい

通所リハビリテーション

- ★買い物訓練
 - ★外出行事
- 皆さまからご好評を頂いており
随時行っていく予定です。

【編集後記】

今回の表紙は「梅の花」です。梅について調べてみたところ、梅は春一番に咲き始め、「ウグイス」は春の訪れ告げる「春告鳥」ともいわれて、共に親しまれています。が、「梅にウグイス」のということばがあり、そのことばの意味は「取り合わせがよい二つのもの、美しく調和するもの」ということでした。しかし、実際によく梅の木にやってくる鳥はメジロのようで、「梅にウグイス」は日本人の早春の理想のイメージによってできたことばのようでした。

(編集委員：宮口)

※なお、本掲載分の個人名・団体名につきましては、個人情報保護法に基づき、本人または御家族の同意を得て掲載されております。
※職員による手作りの為、誤字・脱字があるかもしれませんが、ご了承ください。



日本医療機能評価機構認定病院
日本慢性期医療協会「慢性期医療認定病院」
持続性推進機構 エコアクション21認定
かごしま子育て応援企業登録

医療法人 玉昌会 高田病院

診療科目

- 内科（人工透析含む） ●消化器科 ●泌尿器科
- リハビリテーション科 ●循環器科 ●皮膚科

〒892-0824 鹿児島市堀江町5番1号

TEL 099-226-4325

FAX 099-222-8386

URL <http://www.gyokushoukai.com>



日本医療機能評価機構認定病院とは、...
質の高い医療サービスの提供を支援する目的で、第三者として中立的な立場で病院機能を評価する
(財)日本医療機能評価機構に認定された病院です。